

市立やわらぎ授産所を民営化(平成24年度から) 日本共産党は反対



やわらぎ授産所

市立やわらぎ授産所は、昭和59年に公立の知的障がい者の通所施設として設置され、市の派遣職員と社会福祉法人かたの福祉会により運営されてきました。現在は定員40名で、軽作業や就労・生活支援を行っています。

市は12月議会に、やわらぎ授産所を民営化し、社会福祉法人かたの福祉会に移管することを提案し、12月7日の都市環境福祉常任委員会でも可決されました。日本共産党は、「障がい者福祉サービスの拠点として、公的な責任で運営すべき」と反対しました。

市は、第二次財政健全化計画で、平成24年度を用途にやわらぎ授産所を民営化するとし、かたの福祉会の「自立」による運営を求めました。

かたの福祉会への移管に伴い、やわらぎ授産所の建物等は法人に無償譲渡されますが、市からの指定管理料(年間約2500万円)はなくなり、法人全体でカバーしても、5年間で約2900万円の赤字となる見通しです。法人は、人件費の5%カットや新規事業で、5年後には黒字化していきたいとしています。日本共産党は、「民営化後、市の支援もなくなり、やわらぎ授産所が安定して運営できるのか危惧される。また、福

かたの民報 議会版

2011年12月11日
NO. 1539

【発行】
日本共産党
市議会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835

●やわらぎ授産所 (寺4丁目、障がい者ワーキングエリア内)

主に重度・中度の知的障がい者が通所して、タオルのクリーニングや袋詰めなどの軽作業を行ったり、就労にむけた訓練や、食事・排泄などの生活支援を受けています。

なお、かたの福祉会は、このほか、てらサポートセンター、くらじワークセンターなどを運営しています。

社現場の職員の待遇改善が求められる中、これ以上の人件費カットは行うべきではない。交野市の障がい者福祉の拠点として、公的な責任で運営すべきである」と、民営化に反対しました。

12月議会の日程

日	曜	議会日程
12	月	議会運営委員会(意見書の取り扱い)
14	水	一般質問
15	木	一般質問
16	金	一般質問
19	月	本会議(予備日)
21	水	本会議(委員長報告・採決)

※日本共産党の一般質問は
12月16日(金)
午前10時からの予定です。

ぜひ傍聴に
お越し下さい。



弁護士相談

☆日時 12月15日(木)
午後3時~5時

☆場所 交野市役所 3階
(日本共産党議員団控室)

※順番等がありますので
事前にお電話ください。
☎892-0121(内線301)